

2022年2月24日に開始したロシアによるウクライナ侵攻で、ウクライナの子供や病人を含む一般市民に多数の死傷者が出て、大勢のウクライナ市民が国外へ避難しました。その後一年以上も続くロシアの激しい侵攻に対して決して屈服することなく反戦キャンペーンを兼ねて次々と関連切手を発行されてきています。その粘り強く抗戦する誇り高きウクライナの反戦切手を紹介します。

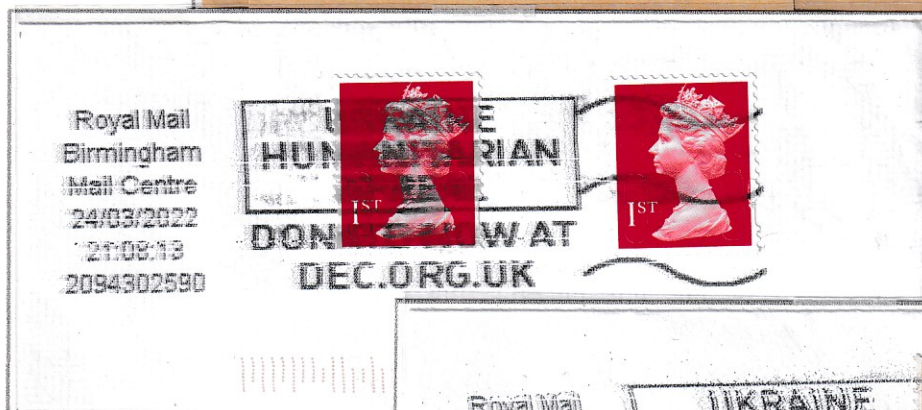
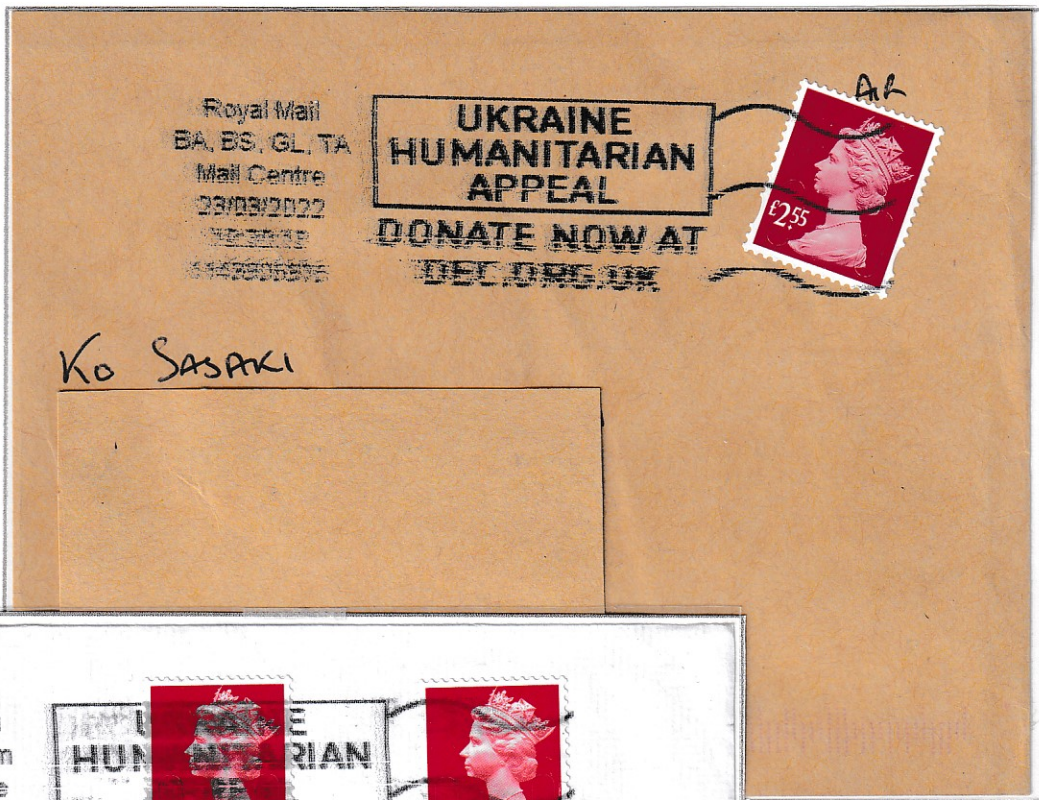
1. ウクライナへの人道支援

ウクライナへの人道支援のキャンペーン印

2022年3月下旬に、英国から届いた郵便に、ウクライナへの人道支援のキャンペーン印が押されていました。

<ウクライナへの人道支援のキャンペーン印>

“DEC.ORG.UK で今すぐ寄付を”



Birmingham 局印



Nottingham 局印

ウクライナ周辺諸国の支援と連帯を表明する切手

ウクライナの周辺諸国では、同国への支援と連帯を表明する切手が、ロシアによるウクライナ侵攻開始の翌月中旬より一斉に発行された。

リトアニア
ウクライナ支援切手



ウクライナの国旗色の二人が抱擁。私たちは共にいる！

ポーランド
ウクライナとの連帯表明



ウクライナの国旗色の手が握手して連帯を示す

ラトビア
ウクライナ支援



国旗色のリボンで
両国の連帯を表す

モルドバ
ウクライナに平和を



ウクライナの隣国モルドバの青・黄・赤の三色旗の鳩が飛ぶ

エストニア
ウクライナに栄光あれ

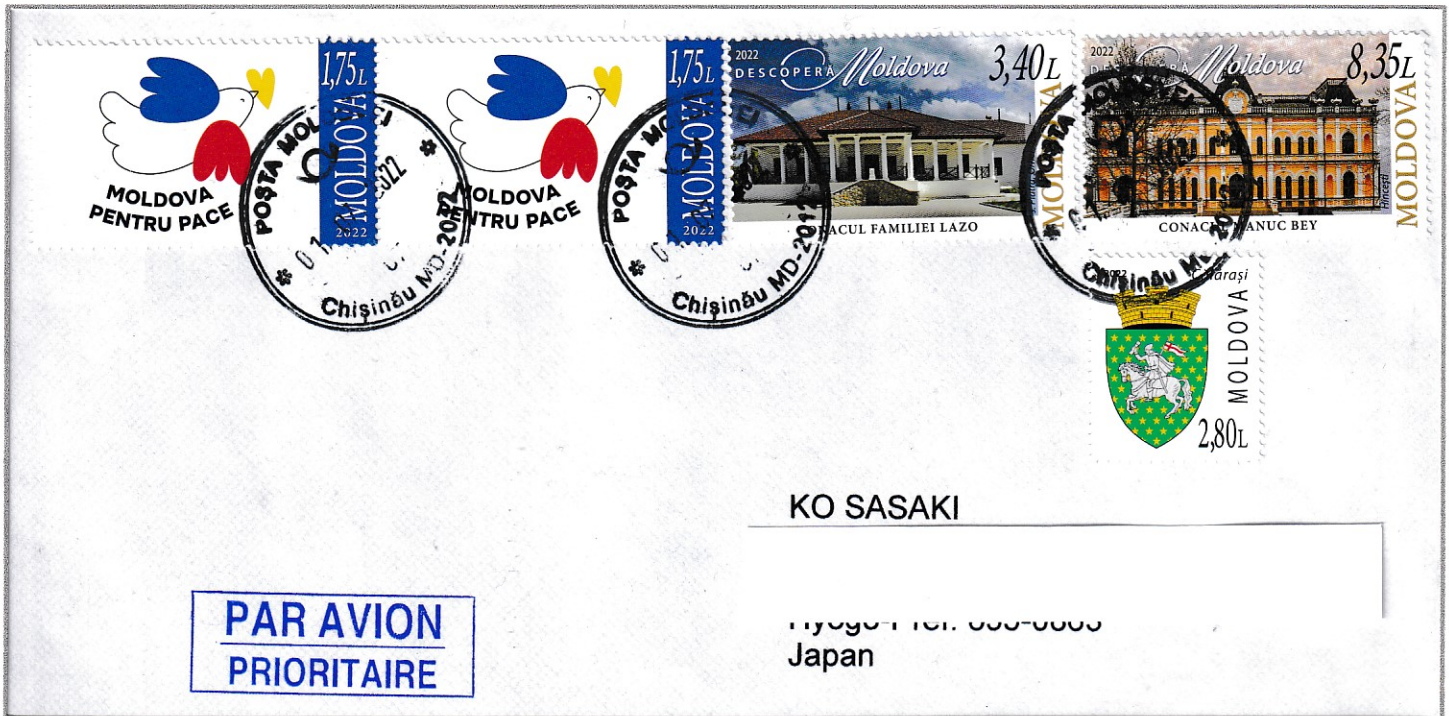


ウクライナ国旗を背景に白鳩が飛ぶ

スペイン
ウクライナ支援



ウクライナ国旗の中心にハートのマーク(愛)を描く



KO SASAKI

〒100-0001 Japan

モルドバの三色旗の鳩切手(PENTRU PACE：平和のために)の切手ペアを貼った実遞(2022.07.01付キシナウ局印)

イギリスの連帯表明

ウクライナの首都キーウを 2002 年 4 月 9 日に電撃訪問したイギリスのボリス・ジョンソン首相(当時)は、ウォロディミル・ゼレンスキー大統領と会談し、追加支援を約束した。



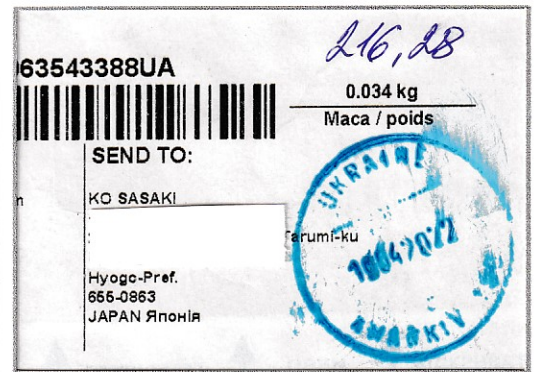
「ウクライナとイギリスは永遠に友達である」と記載のペトロフカ郵便の切手と戦時下の愛国切手を貼った実遞 (2022年12月26日付のキーウ局印と継続有効の特別消印マイダンメール 01001 キーウ)

2. ウクライナの反ロシア切手

反ロシア切手のデザインコンテスト「ロシアの軍艦、くたばれ」

2022年2月24日の侵攻開始以降、ロシア海軍は黒海の海上からウクライナに巡航ミサイル攻撃を行って来たが、ウクライナ国内ではロシア海軍に降伏を促された国境警備隊のウクライナ兵士が言い返した言葉「ロシアの軍艦、くたばれ」が、スローガンになっていた。

4月14日にロシアのミサイル巡洋艦「モスクワ」が沈没しましたが、その2日前の4月12日に発行されたウクライナの郵便切手には、「モスクワ」と思われる軍艦に向かって中指を立てたウクライナ兵が描かれており、発売日には、キーウ市内の郵便局にこの切手を求める列が出来たが、この発行日は偶然にも「モスクワ」が沈没した2日前であった。



左のシートの郵送カバーに押印された戦火の中の「ハルキウ」の消印(2022年4月19日付け)

「ロシアの軍艦、くたばれ」国内郵便用 2022.04.12 発行



沈没した「モスクワ」は、1983年の旧ソ連時代にウクライナのムィコライウ造船所建造されたロシアの黒海艦隊の旗艦であり、この地域で最も強力な水上艦で、第二次世界大戦以来、戦闘で沈没した最大の軍艦となった。

反ロシア切手のデザインコンテスト「ロシアの軍艦、撃沈」

ウクライナ郵政公社「ウクルポシュタ(UKRPOSHTA)」は、先の反ロシア切手第一弾の完売を見込んで、後継シリーズの発行を4月23日に発表した。第2弾は、ロシアのミサイル巡洋艦「モスクワ」沈没を受けて制作されたもので、ウクライナ海軍の日の5月23日に発行された。

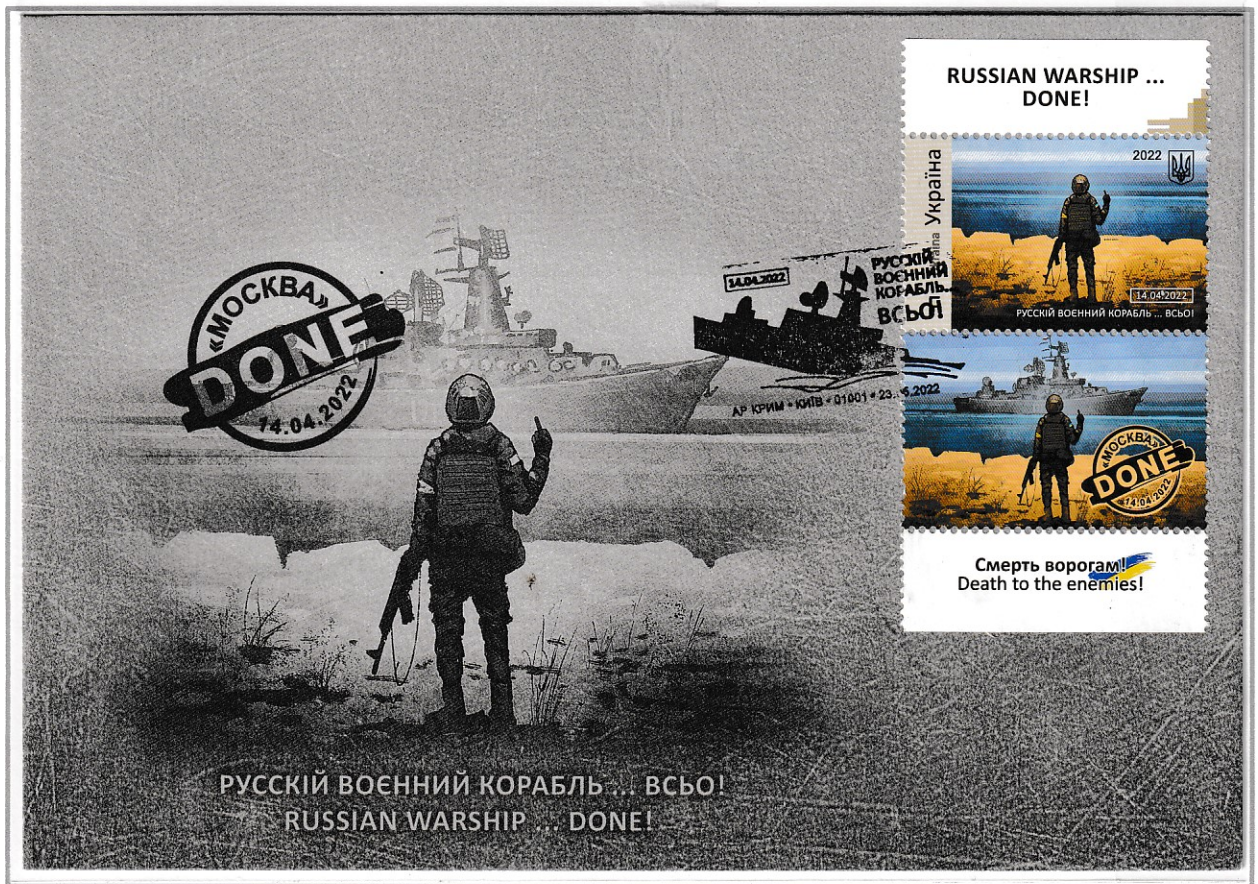
切手の図案からは「モスクワ」の画像が消え、タブには第1弾の図案に”DONE”(撃沈)と記したロゴ風図案を配している。



シリーズ第2弾 国内郵便用 2022.05.23 発行 (50%)



左のシートの単片とタブ(赤で囲んだ箇所)



シリーズ第2弾 国内郵便用 2022.05.23 発行切手(青で囲んだ箇所)を貼った FDC

反ロシア切手のデザインコンテスト「ロシアの軍艦、撃沈」(その2)



左のシートの単片とタブ(赤で囲んだ箇所)

シリーズ第2弾国際郵便使用 2022.05.23 発行(50%)

激戦の要衝バフムト(ドネツク州)の市章



1/ tamachi,
ref 655-0263
ия (Japan)

ウクライナからの郵
送カバー 28.06.22
付けくパラシュ局
(リヴィウ州)>消印

「ロシアの軍艦、撃沈」MC

反ロシア切手「クリミア大橋アンコール!」



2022年10月8日に起きたクリミア大橋爆発を受けてウクライナ郵政は本新切手の発行を発表した。

有名なウクライナ人アーティスト、ユーリ・シャポバルによるデザイン画の新切手が2022年11月4日に発行された。

図案は映画「タイタニック号」のイメージを橋の破壊の鮮明な跳めと組み合わせて、絵画全体に現在の戦争に関する手がかりを織り交ぜている。



ВАДИМ ШЕВЕЛЬ
ДО ЗАПИТАННЯ
КИЇВ 03041
☎ 050.3124372



Ігор Ігнатов
До запитання
м.Чернігів 14005
тел. 067.282.59.30

反ロシア切手「ヘルソンはウクライナだ！」

2022年11月11日、ウクライナ軍(ZSU)は、ヘルソン市とヘルソン州の他の地域、ドニプロ川右岸のミコライウ州の一部を奪還した。

12月9日、ウクライナ郵政は、ウクライナ軍とヘルソン解放を待ち望んでいるヘルソン住民を支援するため、その象徴的な切手「ヘルソンはウクライナだ！」を発行した。

切手の中央のオブジェは、ヘルソン市とヘルソン州のシンボルであるスイカのスライスで、スイカの種は、ロシア軍が容赦なくヘルソン地域を砲撃したミサイルを表現している。



ウクライナ、ヘルソン州都奪還へ隣接ミコライウ州も解放
(出典：毎日新聞 2022/11/12 より)



スイカのスライスには、市民の抗議や砲火を浴びる建物、地元住民、特に活動家に対するロシアの兵士による拷問等、都市の一時的な占領に伴うシーンが描かれている

3. 戦時下の愛国的切手

切手デザインコンテスト「私のウクライナ」

2021年に、「私のウクライナ」をテーマに行われた切手デザインコンテストの優勝作品「児童画」を描いた切手1種類が6月28日に発行された。

図案は11歳の少女による軍事侵攻前の作品で、ウクライナが誇った世界最大の航空機「アントノフ225ムリーヤ」が描かれている。航空機貨物機の至宝とされたこの航空機はロシア軍によって破壊された。ムリーヤはウクライナ語で「夢」を意味し、郵政では「私たちの“夢”は壊せない」として、この切手を不可侵性の象徴と捉えている。



(右下) 宇宙往還機「ブラン」を背中に載せた世界最大の貨物機アントノフ225ムリーヤ航空機設計者O.K.アントノフ生誕90周年(1996年)より



児童画「私のウクライナ」6枚シート

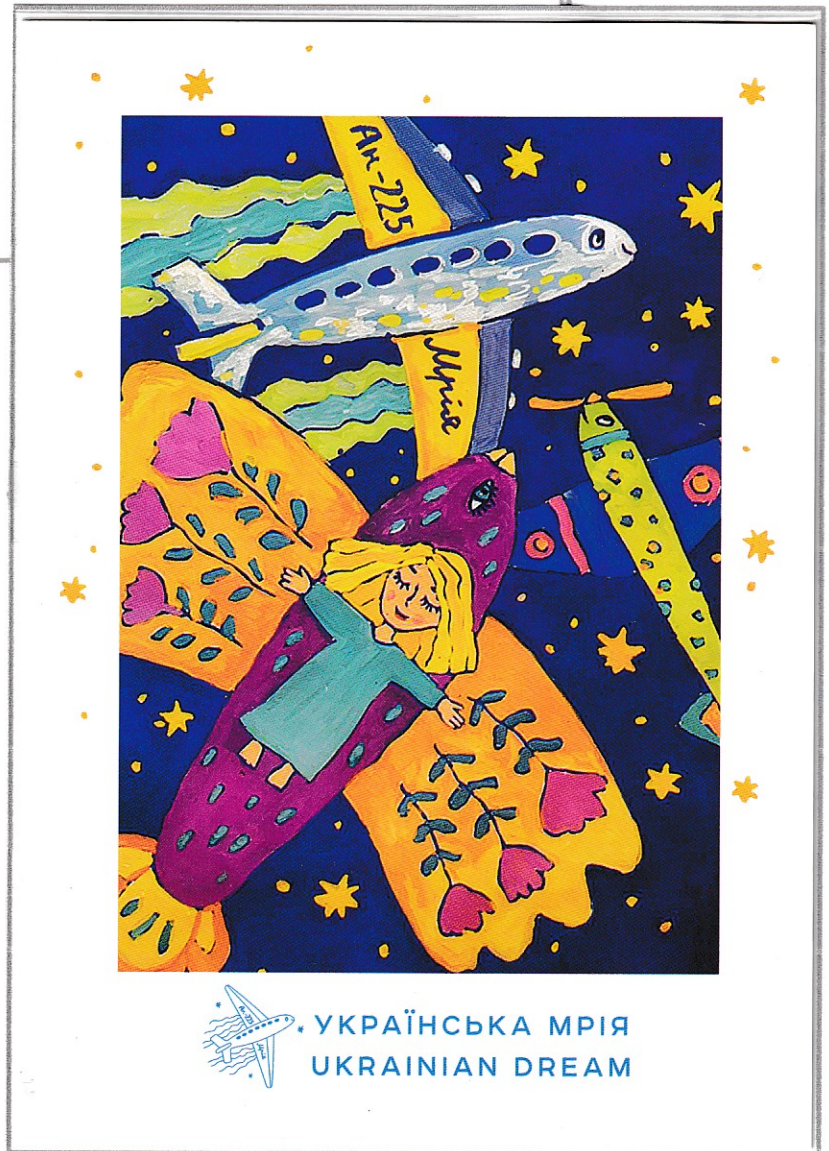


アントノフ225ムリーヤを描いた記念印

切手デザインコンテスト「私のウクライナ」(続き)



児童画「私のウクライナ」FDC



切手デザインコンテスト優勝作品の児童画「私のウクライナ」

切手デザインコンテスト「こんばんは、私たちはウクライナ出身です」

昨年 2022 年 3 月に続き、6 月に切手デザインコンテストが行われ、テーマは、「Good evening, we are from Ukraine (こんばんは、私たちはウクライナ出身です)」で、ロシアの軍事侵攻後、ウクライナ軍の(非公式)挨拶として広く使われるようになった。

今回の切手デザインコンテストの 1 位作品図案「Ukrainian Tractor Towing Destroyed Russian Tank (壊れたロシア戦車を牽引するウクライナのトラクター)」の切手が 7 月 28 日に発行された。



「こんばんは、私たちはウクライナ出身です」補助額面 M (18 UAH)



「こんばんは、私たちはウクライナ出身です」国際郵便用切手を貼った実郵便(2022.07.28 キーウ局印)

ウクライナの不屈の精神を称える

2022年8月24日、ウクライナ郵政は、独立記念日にちなんで「Free, Unbreakable, Invincible (自由、破壊されない、無敵)」と題する小型シートを発行した。

切手には、ウクライナの国旗の色でアクセントを付けたウクライナ兵の印象的な画像となっている。地には、ウクライナのシンボルと、進行中の戦争に耐えている市民のイメージが描かれ、敵に打ちのめされている間でも、ウクライナの精神は途切れることなく、征服されていないことを思い起こさせるものとなっている。



実郵便 (35%)



本小型シートを2枚貼った実郵便の右半分
(2022.11.30 チェルニヒウ局印)

4. 慈善切手

地雷探知犬「パトロン号」

ウクライナ郵政は、8月28日に慈善切手「パトロン・ザ・ドッグ」をオンラインと全国の郵便局で販売を開始した。

この慈善プロジェクトは、地雷除去車 Armtrac 400 の購入と、動物保護施設を支援するための資金 100 万ユーロを調達するためのもの。

切手には、ロシアのウクライナ侵攻の中でウクライナ国家非常事態庁のマスコットとなった地雷探知犬のジャック・ラッセル・テリアの「パトロン号」が描かれ、切手シートは 8 枚の寄付金付き切手で構成されている。



「パトロン号」は、ロシアの地雷 236 個の位置を探り当てメダルを授与された。



本切手と前述のクリミア大橋アンコール切手貼りの実郵便(2023年1月26日オデーサ差し立て)

5. ロシアに抵抗した伝説的な船

掃海艇「チェルカースィ」(U311)

2014年3月に船上で起こった実際の出来事に基いた映画「CHERKASY」に登場した船で、ロシア軍に抵抗し、勇敢な戦いを続けたクリミアで最後のウクライナ船の物語である。ロシア軍との戦闘後、拿捕され、セヴァストポリのストレツカヤ湾に係留されている(2020年2月時点)。



1997年7月にロシア黒海艦隊からウクライナ海軍に移譲された掃海艇「チェルカースィ」

フリゲート艦「ヘットマン・サハイダクニイ」(U130)

旧ソ連のKGB国境警備用フリゲート艦として1993年に竣工し、同年7月本船名として就役し、初めてウクライナ海軍旗が掲げられた。

ロシアのウクライナ侵攻中の2022年3月に半没水状態で着座しているのが映っていた。ウクライナ国防相は、「ウクライナ海軍旗艦の司令官が、修理中の本船が敵の手に落ちないように、船を浸水させる命令に従った」と述べた。



1993年に初めてウクライナ海軍旗が掲げられた「ヘットマン・サハイダクニイ」の切手を貼った実郵便(2016年7月2日付のキーウ局印と継続有効の特別消印マイダンメール01001キーウ)

戦火を潜り抜けた郵便

2022年9月16日
差立て、戦火の激しいハルキウ州ピヴデンス局印(かなり痛みが激しかったらしく、再包装された封筒には、切手は無く、消印等の部分のみ切り貼りされていた)



ウクライナ祖国記念碑 (Ukrainian Motherland Monument)



左手の縦には旧ソ連の国章

